



# 流山市総合計画 後期基本計画 概要版

(平成22～31年度)

## 「都心から一番近い森のまち」



### 流山市





## ごあいさつ

平成 11 年に策定された 20 年計画、「流山市総合計画」が折り返し地点を過ぎました。平成 22 年 4 月からは、計画の後半 10 年間の流山市の経営方針を示す「後期基本計画」がスタートします。

私たちの流山は、江戸時代からの経済・文化の拠点としての歴史と同時に、つくばエクスプレスにより、都心と 20 分台で結ばれ利便性と緑豊かな環境を併せ持つ魅力あふれるまちです。

その流山も今後の 10 年間で、高齢者社会をむかえます。人にも自然にも優しい「都心から一番近い森のまち」として、末長く快適な街とするために様々な布石を打ち、流山の可能性をより一層、引き出すまちづくりを推進してまいります。

同時に、市民ニーズに的確に対応した施策展開を、市民自治・協働のもとに進め、市民であることが誇りとなる流山を、皆様とご一緒に築いてまいります。

最後に、本計画の策定に当たり、貴重なご意見をお寄せいただきました市民の皆様に厚くお礼申し上げます。

流山市長

井崎 義治

## 後期基本計画の位置づけ

後期基本計画の計画期間は平成 22 年度から平成 31 年度までの 10 年間とし、後期基本計画を実現するための実施計画は、上期 3 年（平成 22～24 年度）、中期 3 年（平成 25～27 年度）、下期 4 年（平成 28～31 年度）の 3 期に分けて策定します。なお、それぞれの期間において、予測された社会経済情勢等が大きく変化し、計画内容との間にかい離が生じたときは、計画を見直すものとします。

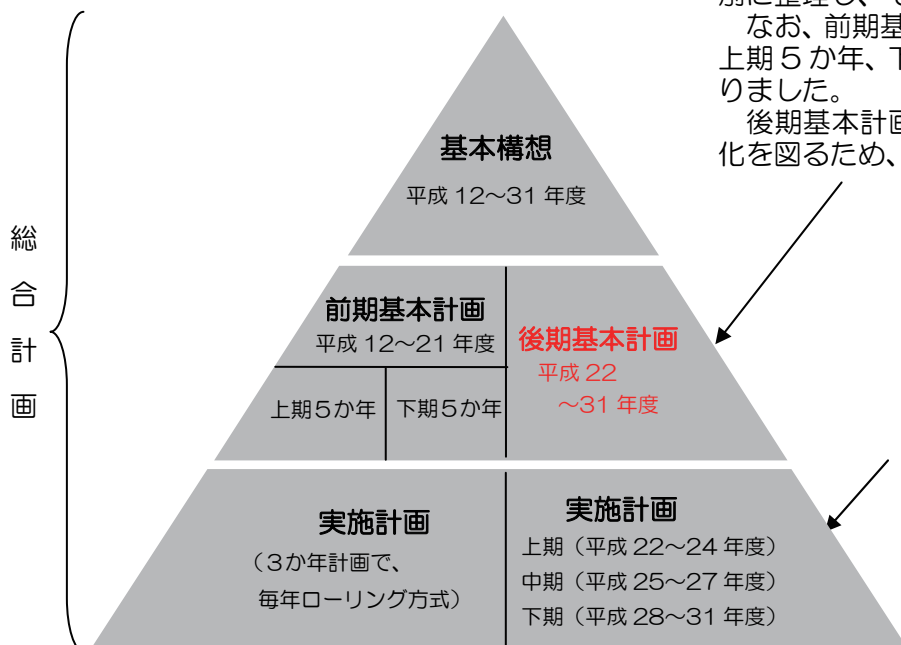
また、行政評価システムや市民満足度調査を活用して、施策や事務事業を評価し、その結果を実施計画や予算に反映していきます。

基本計画は、基本構想に定める施策の大綱等に基づき、その実現を図るための施策の展開を体系別に整理し、その方向を示したものです。

なお、前期基本計画（平成 12～21 年度）では、上期 5 年、下期 5 年に分けて計画の推進を図りました。

後期基本計画では、分かりやすさと事務の簡素化を図るため、上期下期の区分を廃止しました。

実施計画は、基本計画に定められた基本的な施策を行財政運営の中で具体的に実施する事務事業を体系別に整理したものです。後期基本計画では、上期 3 年、中期 3 年、下期 4 年の 3 期に分けて策定します。



# 将来の都市イメージ

市基本構想で定めた将来都市像 『豊かな自然や歴史・文化を活かし、市民が真の豊かさを実感できるまち「みんなでつくろう価値ある流山」』 の実現に向け、後期基本計画では具体的な都市のイメージを

## 『 都心から一番近い森のまち 』

とします。これは、人にも自然にも優しいまち、都心から一番近い便利で心やすらぐ森のまちを表したものです。

歴史や文化を大切にするとともに、つくばエクスプレス（以下「TX」といいます。）開通により都心と 20 分台で結ばれた効果を最大限に活かすまちづくりを推進し、一方では、県立市野谷の森公園や運動公園などの残された緑を守り、グリーンチェーン戦略<sup>※</sup>や市街地内CO<sub>2</sub>吸収源倍増事業の展開などにより失われた緑を回復させ、緑豊かなまちを実現します。



イベントで賑わう流山おおたかの森駅前



市民の力で残された市野谷の森



流山市の大動脈となった TX

### ※グリーンチェーン戦略

本市の豊かな緑と、住宅の庭先の緑をつなげることによって、緑豊かな環境を創り、街全体の価値を高め「都心から一番近い森のまち」を目指すもの。

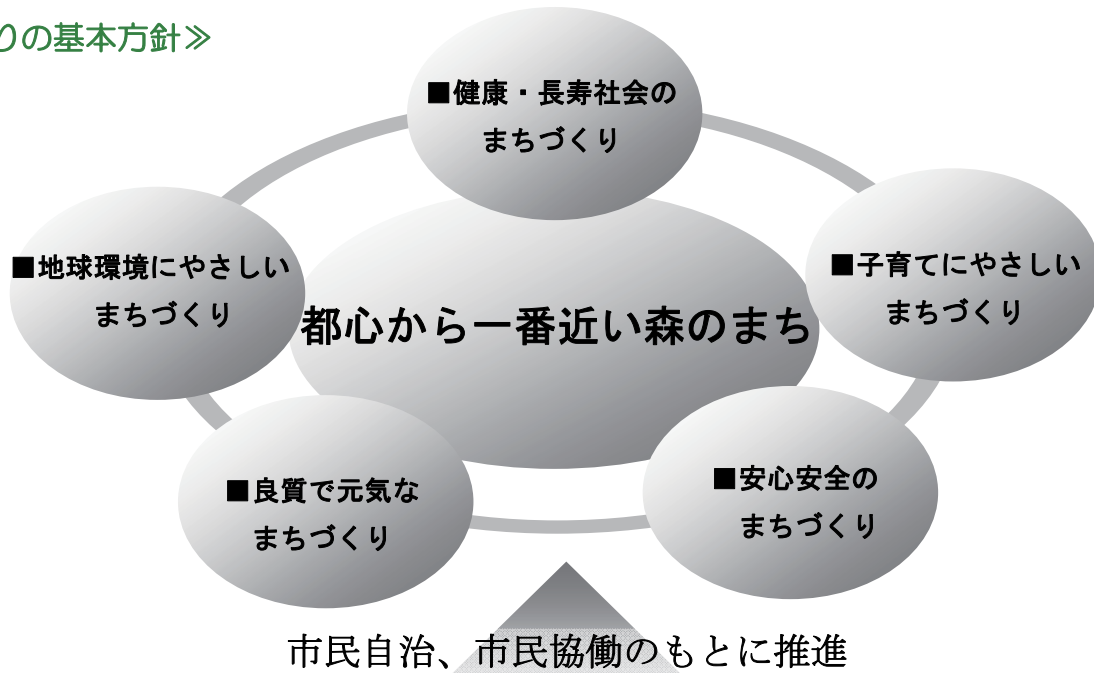
# まちづくりの基本方針

後期基本計画が目指す「都心から一番近い森のまち」の実現を図るため、「まちづくりの基本方針」を定め、市民自治、市民協働のもとに全施策を推進していきます。

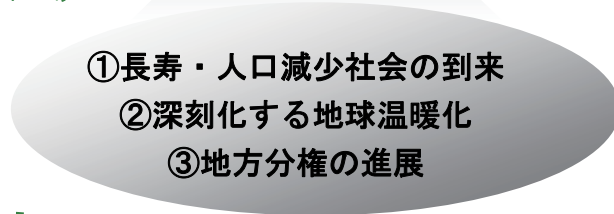
これらは、時代の潮流（3つのパラダイム）を再認識するとともに、前期基本計画における下期5か年計画「重点プロジェクト」を評価・総括した結果を踏まえて、5つの「まちづくりの基本方針」として再構築したものです。

また、この基本方針を、すべての施策を推進する際に配慮すべき方針として全施策への浸透を図り、36本の施策を有機的に連携しながら効果的なまちづくりを進めます。

## 《まちづくりの基本方針》



## 《時代の潮流（3つのパラダイム）》



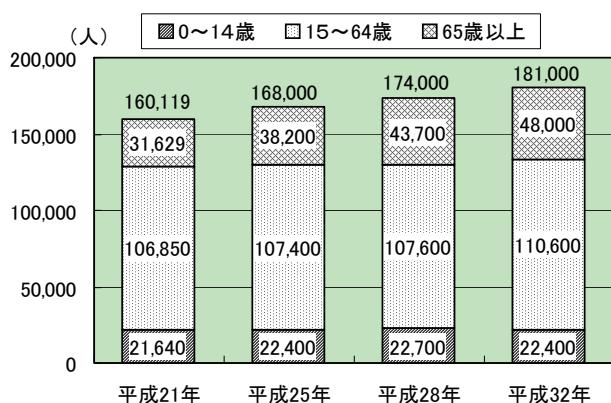
# 人口と財政の見通し

平成31年度末（平成32年4月1日）の人口は、約18万1千人を見込みます。

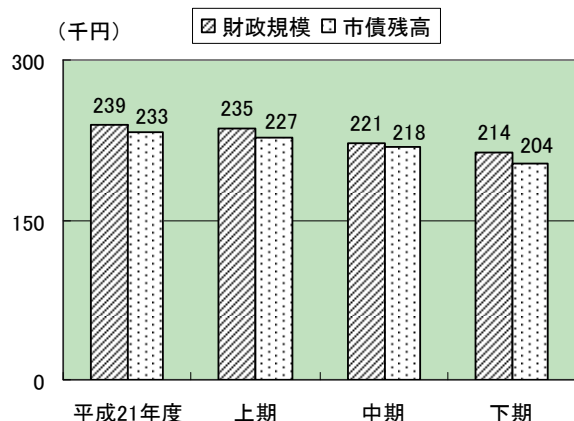
また、10年間の財政の見通しは、一般会計で歳入・歳出ともに累計で約3,840億円を見込み、市民一人当たり

の財政規模は、下期（平成28～31年度の4年間）の平均で、約21万円となり、同じく市民一人当たりの市債（借入金）残高は、約20万円を見込みます。

## ■年齢3区分別人口の見通し



## ■市民1人当たりの財政規模・市債残高





# 1 節 都市基盤の整備

グリーンチェーン戦略の推進やCO<sub>2</sub> 吸収源の倍増を目指して、公園・緑地などを整備し緑豊かなまちを実現します。また、TX沿線の整備を引き続き推進し、本市の核となる市街地を形成するとともに、既成市街地との有機的な結合を図り、水辺環境に配慮した調整池を整備するなど良質なまちづくりを推進します。

さらに、ぐりんバスの充実を図るとともに、民間路線バスや鉄道のより一層の輸送力増強や交通利便性の向上の促進に努めます。

指 標 名	基準値 (H20)	目標値 (H31)
市街地内CO <sub>2</sub> 吸収源増加率	100%	200%
公共交通機関の利用について満足と感じている市民の割合	60.7%	75.0%

**【指標】**

後期基本計画では、施策の進捗状況を把握するために指標(目標)を設定しています。



駅周辺の市街地整備



公園整備でCO<sub>2</sub> 吸収源を倍増



グリーンチェーン戦略



市民の足「ぐりんバス」

# 2 節 生活環境の整備

環境にやさしいまちの実現を目指し、地球温暖化の防止や生物多様性の保全を推進し、市内に残された自然環境を守り、より自然の恵みを楽しむことができる快適な生活環境の整備に努めるとともに、ごみの減量、資源化を重視した循環型社会を目指します。

また、市民の生命や財産を守るため、防災対策や消防体制の充実、交通安全、防犯、消費者対策などを推進するとともに、市民が互いに信頼しあい連帯意識をもって、市民主体によるまちづくりを目指した地域コミュニティを形成します。

指 標 名	基準値 (H20)	目標値 (H31)
環境の豊かさを実感している市民の割合	80.5%	83.0%
1人1日当たりのごみ発生量	976 g	871 g 以下(H30)



おおたかの森探検ツアー



緑のカーテン作り



自主防犯パトロール隊



リサイクルプラザでごみ減量化

### 3節 教育・文化の充実向上

市民のライフステージに応じ、生涯にわたる教育・文化活動を通じて、自然や文化に親しみ、趣味、スポーツ、レクリエーションなどを楽しむことができるようプログラムと事業の充実を図ります。また、学校、家庭、地域、行政が連携して、教育内容・環境の充実向上に積極的に取り組みます。

さらに、学校、文化会館、図書館、体育館、スポーツフィールドなどの施設の充実を図ります。

指 標 名	基準値 (H20)	目標値 (H31)
小中学校図書館の蔵書数が学校図書館標準を達成している学校の割合	60.9%	100%
継続的に運動・スポーツに取り組んでいる市民の割合	59.9%	65.0%



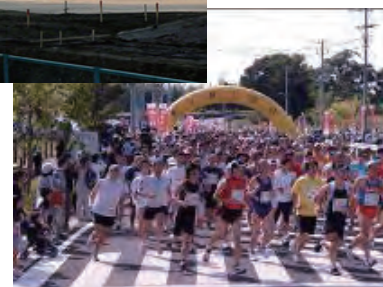
初石公民館の森のコンサート



ICT学習をする中学生



おおたかの森  
スポーツフィールド



流山ロードレース大会

### 4節 市民福祉の充実

健康都市宣言のまちとして、市民一人ひとりが楽しく、いきいきと暮らせる地域づくりを推進します。障害や高齢などにより介護や支援が必要な状態になっても地域で安心して暮らせるよう、多様なニーズに適切に対応した保健・医療・福祉・介護サービスの充実と連携強化に努めます。

また、保育所や学童クラブを充実させ、待機児童の解消を図るなど、子育て世代を応援します。バリアフリーのまちづくりを推進するとともに、一人暮らし高齢者などの社会参加・生活支援、さらにはボランティア、NPO、社会福祉協議会などと協働して地域で支える福祉活動を推進します。

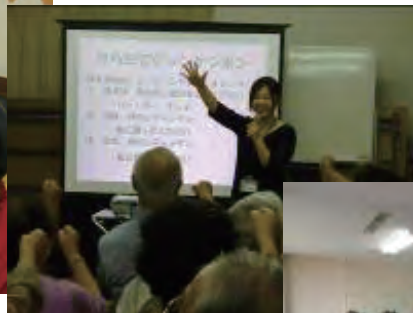
指 標 名	基準値 (H20)	目標値 (H31)
保育所の待機児童数	48人	0人
生きがいを感じる高齢者の割合	80.0%	84.5%



保育サービスの充実



3歳児健診



介護予防教室



ヘルスアップ事業



## 5 節 産業の振興

TX沿線整備事業に伴って商業集積が進む流山おおたかの森駅周辺への商業・業務機能の一層の集積を図るとともに、既存商業地の活性化に努めます。

また、企業誘致、住民誘致を進めることによって産業活力の向上を図るとともに、地場産業の生産性の向上と生産環境の整備改善を図るほか、未成年者及び子育て中の女性の就労支援に加え、高齢者や障害者雇用の機会の拡大に努めます。

さらに、地産地消の促進に向け、学校での流山産米飯給食を進める「このまちごはんプロジェクト」を通じて、食育や農業の育成にも努めます。加えて観光振興のため、気軽に自然や歴史に親しめる観光事業を推進します。

指 標 名	基準値 (H20)	目標値 (H31)
遊休農地面積有効利用の割合	72.2%	80.0%
観光イベント開催による観光入込数	97 千人	130 千人



市民農園・体験農園



新川耕地に広がる水田



利根運河自然体験ウォーク



流山花火大会

## 施策の推進方策 行政の充実

市総合計画の将来都市像の実現に向け、市民ニーズを的確に把握し、時代の変化に迅速・的確に対応した主体性・透明性のある効率的・効果的な行政運営の積極的な推進を図ります。

また、個人の尊重と真の男女平等の実現を目指す、男女共同参画社会の環境の整備や、生活行動圏の拡大や自治体間の共通事務事業などに対応した広域的な相互協力を図ります。

施策の推進に当たっては、自治基本条例で定めた市民自治によるまちづくりのさらなる深化・発展を推進し、市民自らが自覚と責任をもって自主的にまちづくりに参加することのできる方策を検討しながら、市民・行政の役割を認識し、これまで以上に市民と行政との信頼関係を構築していきます。

指 標 名	基準値 (H20)	目標値 (H31)
市民活動団体の数	123 団体	160 団体
市に意見を言える機会に満足している市民の割合	65.0%	80.0%



子育てに参加するお父さん



みんなでまちづくりに参加



流山おおたかの森出張所



タウンミーティング



流山市

**流山市総合計画・後期基本計画概要版**

●発行 平成22年3月 ●発行者 流山市 ●編集 流山市総合政策部企画政策課  
千葉県流山市平和台1丁目1番地の1 ●電話04-7158-1111



環境にやさしい紙とインクを使用しています